

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【公表番号】特表2015-524652(P2015-524652A)

【公表日】平成27年8月27日 (2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2015-501989(P2015-501989)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

C 0 7 K 16/30 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/47 Z N A

C 1 2 N 5/00 2 0 2 L

C 0 7 K 16/30

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/17 Z

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月5日 (2016.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

10～30アミノ酸長を有し、配列番号：8のアミノ酸配列の一部を含む単離されたペプチドであって、

(a) 配列番号：2または1のアミノ酸配列から選択される9を超えるアミノ酸長を有する連続するアミノ酸配列；および

(b) (a)のアミノ酸配列において1、2または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入および/または付加されているアミノ酸配列から成る群より選択されるアミノ酸配列を含み、Tヘルパー1型(Th1)細胞を誘導する能力を有するペプチド。

【請求項2】

前記ペプチドまたはその断片が少なくとも2種類のMHCクラスII分子に結合する能力を有する、請求項1に記載の単離されたペプチド。

【請求項3】

前記MHCクラスII分子が、HLA-DP5、HLA-DR15、HLA-DR8およびHLA-DQの1つから成る群より選択される、請求項2に記載の単離されたペプチド。

【請求項4】

LY6K特異的細胞傷害性Tリンパ球(CTL)誘導能を有するペプチドのアミノ酸配列を含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の単離されたペプチド。

【請求項5】

(a) 配列番号：2および1から成る群より選択されるアミノ酸配列；および

(b) (a)のアミノ酸配列において1、2または数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入および/または付加されているアミノ酸配列から成る群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項4に記載の単離されたペプチド。

【請求項6】

前記ペプチドが配列番号：6のアミノ酸配列を含む、請求項5に記載の単離されたペプチド。

【請求項7】

請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項8】

(i) Th1細胞、

(ii) CTL、

(iii) Th1細胞を誘導する能力を有する抗原提示細胞(APC)、および

(iv) CTLを誘導する能力を有するAPC

から成る群より選択される細胞の少なくとも1つを誘導するための組成物であって、請求項1から6のいずれか一項に記載の1つもしくは複数のペプチド、またはそれらをコードする1つもしくは複数のポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項9】

(a) 請求項1から6のいずれか一項に記載の1つまたは複数のペプチド；

(b) 請求項7に記載の1つまたは複数のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示する1つまたは複数のAPC；

(d) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示するAPCを認識する1つまたは複数のTh1細胞；および

(e) 前記(a)から(d)の任意の2つまたはそれ以上の組合せ

から成る群より選択される少なくとも1つの有効成分を含有し、ならびに

(i) がんの治療、

(ii) がんの予防、

(iii) がんにおける術後再発の予防、および

(iv) 前記(i)から(iii)の任意の2つまたはそれ以上の組合せ

から成る群より選択される目的のために製剤化されている、医薬組成物。

【請求項 10】

MHCクラスII分子としてHLA-DP5、HLA-DR15およびHLA-DR8から成る群より選択される少なくとも1つを有する対象への投与用に製剤化されている、請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

CTL誘導能を有する1つまたは複数のペプチドをさらに含有する、請求項9または10に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

MHCクラスII分子によって媒介される免疫応答を増強するための組成物であって、

(a) 請求項1から6のいずれか一項に記載の1つまたは複数のペプチド；

(b) 請求項7に記載の1つまたは複数のポリヌクレオチド；

(c) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示する1つまたは複数のAPC；

(d) 請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を自らの表面に提示するAPCを認識する1つまたは複数のTh1細胞；および

(e) 前記(a)から(d)の任意の2つまたはそれ以上の組合せから成る群より選択される少なくとも1つの有効成分を含有する組成物。

【請求項 13】

Th1細胞を誘導する能力を有するAPCを誘導するための方法であって、APCを請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドとインビトロで接触させる段階を含む方法。

【請求項 14】

Th1細胞をインビトロで誘導するための方法であって、

(a) CD4陽性T細胞を、MHCクラスII分子と請求項1から5のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体を自らの表面に提示するAPCと共培養する段階；および

(b) T細胞受容体(TCR)サブユニットの両方をコードするポリヌクレオチド、またはTCRサブユニットの各々をコードするポリヌクレオチドをCD4陽性T細胞に導入する段階であって、ここでTCRが、細胞表面に提示されるMHCクラスII分子と請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体に結合することができる、段階

から成る群より選択される段階を含む方法。

【請求項 15】

CTLをインビトロで誘導するための方法であって、

(a) CD4陽性T細胞およびCD8陽性T細胞の両方を、請求項4から6のいずれか一項に記載のペプチドと接触させたAPCと共培養する段階；ならびに

(b) CD8陽性T細胞を、請求項4から6のいずれか一項に記載のペプチドと接触させたAPCと共培養する段階

から成る群より選択される段階を含む方法。

【請求項 16】

MHCクラスII分子と請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片との複合体を自らの表面に提示する、単離されたAPC。

【請求項 17】

APCの表面に提示された請求項1から6のいずれか一項に記載のペプチドまたはその断片を認識する、単離されたTh1細胞。